

## 2003年12月7日(日) 第13回手賀沼ふれあい清掃感想

秋晴れの絶好の天气に恵まれ、先週の北千葉第2 機場ビジターセンターでの悪天候が恨めしくさえ感じるほど。「大堀川の水辺をきれいにする会」からは青木さんと私、美手連からは田口さん、星野さんほかの参加。



### 受付

といっても住所氏名を書くわけじゃなし、単に当日のパンフレットを渡すのみ。

これでは事故が起きた時その人がイベントの参加者であったか否か分かるのだろうか。



### [ パンフレットの記載内容 ]

スケジュール

清掃コース、ゴミ集積場所と地図

ゴミの分別方法

- ・ 白いビニール袋へはビンと缶、B4サイズ大のレジ袋へはペットボトル、
- ・ その他は青いビニール袋へ

レジ袋はほんとに小さくこれじゃ2・3本で一杯になるだろうと思われたが、殆ど越知丁なかった。

主催者：手賀沼ふれあい清掃実行委員会

協力団体：我孫子市スカウト協議会、我孫子市 野鳥を守る会など7団体

問合せ先：我孫子市手賀沼課

### 道具

主催者が用意してたのは3種類のゴミ袋のみ。道具はなん～にもなくて、手だけが頼り。このため道路の1メートル下に見えるゴミも道具があれば拾えるものをなかなか拾えなか



った。しかし、4～5人若者グループが来て、いきなり運動靴のまま田んぼへ飛び降りグチャグチャになった靴を履いたまま熱心にゴミを拾っている姿を見て感心させられた。

## 参加者

ざっと見渡したところ200人前後のようだが、青木さんが主催者に聞いたところ400人だという。ボーイスカウト・ガールスカウトが参加者の1/3位いたんじゃないだろうか。中でも一番えらそうな方が開会と閉会の挨拶もやっておられた。

福島我孫子市市長も挨拶し、服を着替えて参加していた。

お役所主導の活動ということ差し引いても、柏市の市長と比べて天と地ほどの差だ。

田口さんの話によれば美手連からは野鳥の会など8団体が出席していたようだ。

~~~~~

## 作業とゴミ

[手賀沼親水広場の前の車道沿いグループ]と親水広場を境に[左右の遊歩道沿いに2つのグループ]に分かれた。このグループ分けも『皆さんで各グループの人数が等しくなるように』というアバウト。



作業時間は1時間15分。

私は“あそこが一番ゴミが多いよ”と聞かされた[車道沿いグループ]に加わった。ゴミは車道沿いの田んぼにこそいくらかあったが思いの外少ない。私はかなり精力的に拾ったつもりだったが、結局は柏市の缶入れ袋サイズのビニール袋を1.5袋いっぱいにただけだった。大物はほぼゼロ。

大堀川の大掃除のように数人でゴミと闘う姿はついぞお見かけしなかった。

## 作業後

みんなでジャンケン大会。壇上に立った市役所の方とおぼしめき男性と参加者が1対nでジャンケンし、負けた人が退いて最後に残った数人に賞品が配られた。約15分間のこのゲームだけで、あとは挨拶があり、参加者は記念品のエコバッグを貰ってお開き。折角のお休みに出てきて、こんなにきれいになって気持ちも良く、天気もいいのに、なんとも味気ない最後でした。

尚、田口さんのお話では来年は我孫子も入れて同時開催にする、ということでした。